

議事要旨

会合名：第9回 DX 対応モデル契約見直し検討WG (WG2)

日時：2020年1月27日(月) 10:00~12:30

討議内容：

1. 論点に関する議論

1) 委員より提出の資料(委員提出資料1)を説明した。

2) 事務局より「モデルプロセス案」を説明した。

3) 委員より提出の資料(委員提出資料2)を説明した。

4) 専門委員より契約試案及び別紙について、コメント対応案(修正済み資料含む)を説明し、議論を行った。

なお必要に応じて委員から提出の資料(委員提出資料3、変更協議の離脱条件)の説明も行った。次のような議論(主なもの)があった。

- ガイドライン案のタイトルについて意見照会ではあまり意見は出されなかったが、試案の中で“開発の進め方の指針として参照する”という整理をしたので、“アジャイル開発 進め方の指針”というタイトルを採用する。
- スプリントレビューに出席するステークホルダーの範囲は、インセプションデッキの段階で合意しておく必要がある。柔軟性の確保やタイミングの面から契約書には書きにくいので解説に記述する。
- 準委任とはいえベンダ側の責任・義務の記載が少ないという意見があったため、ベンダの努力義務を追加する。また、ベンダの善管注意義務との関係で、ベンダがバックログ作成時等に非機能要件に関する提案・助言等を適切に行うべきであることの注意喚起や関連する裁判例を解説に記述する。
- 別紙のサンプルを変更した。サンプルとしては今回の抽象度でよいが、記載の粒度はケースバイケースであることが分かるよう解説に記述する。
- 別紙の体制及び委託料の書き方について、体制変更や委託料計算等をより行いやすい内容となるよう、委員より修正案を提出することとなった。
- プロダクトオーナー等のチームメンバー変更時には、事前に相手方に伝えた上、業務に支障が出ないよう引き継ぎ等の適切な対応を行う必要があることを契約に記述する。
- 契約の変更管理について、解除を行える場合を合理的な理由がある場合に限定する案や、ベンダが解除を行う場合に交代する場合のコストを一部負担する案などが出た。議論の内容を踏まえ、本件は事務局にて修正案を作成しWG内で意見照会を実施することとなった。
- アジャイル開発における指揮命令に関する議論を行った。

2. モデル契約解説について

専門委員より「モデル契約解説」の概要を説明し、内容についてWG内で意見照会を実施することとなった。

3. 成果物全体の議論

事務局より「成果物の構成概要」については意見照会のコメントがなかったこと等を説明した。

4. 今後の予定について

事務局より3月末までの予定を説明した。また、公表後の普及活動や利用者からのフィードバック等に備えるために、来年度もWG体制は維持をしたい旨説明し、了解された。

以上